

NIKE AIR MAX 95 OG

■ ナイキ エア マックス 95 OG

資料提供: yutoman0310



日本のスニーカー史を語るうえで絶対に外せないのが、発売当時“AIR MAX 狩り”という事件まで発生した伝説のマスターピース、AIR MAX 95だ。それまでナイキACGを手掛けていたセルジオ・ロザーノは、ビジブルエアユニットをフォアフット（前足）にも搭載し、体格の良いランナーにも対応した画期的なランニングシューズを開発した。ただ、ストリートシーンで評価されたのはランニングシューズとしての性能よりも、それまで“誰も見たことがなかった”デザインである。アッパーを包み込むようなディテールは“あばら骨”をイメージしたもので、グラデーションを生み出す多層構造は地層を参考にしたと伝えられている。それまでナイキの人気モデルと言えばAJシリーズだった常識を打ち破り、社会現象と評されたハイテクスニーカーブームを創造した。その人気の高さからバリエーションが出過ぎた感もあり、ここ数年ではAIR MAX 1やAIR MAX 90人気に少々押され気味な印象も受ける。ただ、初代カラーの存在感は別格で、誕生20周年を迎えた2015年には、初代カラーを含む完成度の高い復刻モデル“OG”が発売され、“イエローグラデ”などのオリジナルカラーに加え、歴代カラーを1足に落とし込んだ“GREEDY”等は争奪戦が勃発したのは記憶に新しいだろう。Stussyコラボや“Dave White”のようなスマッシュヒットカラーは存在するが、オリジナルカラーの印象が強すぎて、他のカラーの話題性が低くなりがちなのは、AIR MAX 95が抱える唯一の弱点かもしれない。AJ1の“OG”に“fragment”や“SHATTERED BACKBOARD”があるように、2018年にはオリジナルカラーと並び称される、新たなAIR MAX 95の登場に期待したい。

NIKE AIR MAX 95 OG

■ ナイキ エア マックス 95 OG

資料提供: akn1017_y.m

